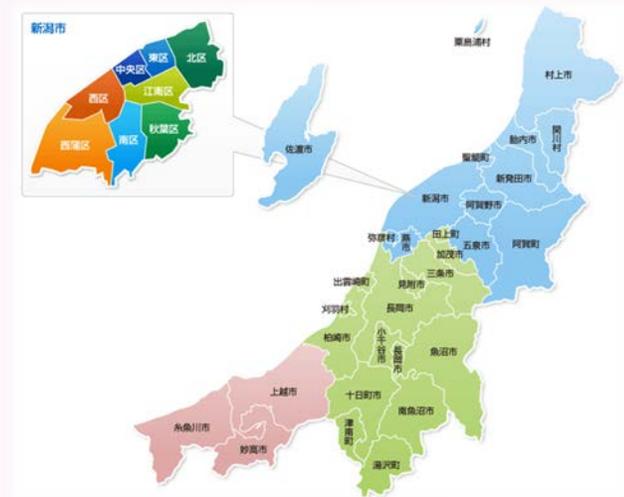


小児科併設型ネウボラ

親とよいこの😊
サポートステーション



NPO法人 はっぴいmama応援団
代表理事 松山 由美子

新潟市のネウボラへの取り組み

人口 807,450人(H28.10月)

出生 6,374人(H25年)

平成28年 4月～

- 母子コーディネーターを市内3か所設置。
- 母子健康手帳交付時、助産師が問診し、ケアプランを組む



新潟市 妊娠・子育てプラン

(妊娠期～出産後4か月頃まで)

- 印は区役所・保健福祉センターなどで、★印は医療機関で受けられます。
- は終了したらチェックしましょう。

出産予定日
年 月 日

START!

●母子健康手帳交付

- 窓口交付の方は、集団交付日に無料で**歯科健診**が受けられます。

★妊婦健康診査

- ※母子健康手帳交付時に受診票をお渡しします。
- 医療機関での健康診査について14回分の助成を受けられます。
- (国が示した基準に該当する検査項目以外は自己負担になります。)

妊婦健康診査の回数
23週(6か月)まで4週に1回
35週(9か月)まで2週に1回
36週(10か月)以後1週に1回

●★安産教室

- 年 月 ※定員制のため、予約が必要です。
- 妊娠中の過ごし方や沐浴などを仲間作りをしながら学べます。
- 夫婦で参加できる回もあります。

□出産育児一時金・ 出産手当金

- 医療機関や勤務先で手続きをしましょう。



●出生届などの提出

- 出生届は、生後14日以内に区役所などへ届け出ましょう。
- 出生連絡票(母子健康手帳交付時にお渡しします。)を提出しましょう。新生児訪問のために使用します。
- こども医療費助成・児童手当の手続きをしましょう。

★1か月児健康診査

- 出産した医療機関などで受けましょう。(有料)

●新生児訪問

- 助産師や保健師がご家庭にうかがいます(里帰り先でも可能です。)
- 赤ちゃんの体重測定やお母さんの産後の体調などについて相談できます。

★予防接種

- ※出生届またはこども医療費助成などの手続き時に「予防接種予診票つづり」をお渡しします。
- 委託医療機関での個別接種です。
- 予約などは、あらかじめ委託医療機関にお問い合わせください。

★乳児一般健康診査(生後3か月頃・10か月頃)

- ※母子健康手帳交付時に受診票をお渡しします。
- 県内の医療機関にて無料で受診できます。

●股関節検診(生後2～4か月頃)

- 個別通知が届きます
- 股関節の検査と、助産師・保健師等による相談を受けられます。

※詳細は母子健康手帳交付時にお渡しした「新潟市子育て応援パンフレットSKIP」をご覧ください。

妊娠期

23週(6か月)
35週(9か月)
36週(10か月)



市外・県外に里帰りをする時は…

- 里帰り出産の場合、帰省先の産院を決めましょう。
- 県外の医療機関で妊婦健康診査を受ける場合は、保健所健康増進課に事前連絡し、受診の手続きをしましょう。
- 市外に転出の場合、転出先で妊婦健康診査受診票などの手続きをしましょう。

＊お誕生おめでとうございます＊

いよいよ赤ちゃんとの暮らしのスタートです。喜びと期待とともに不安を感じる時期でもあります。毎日の育児は通常より身体的にも精神的にも負担がかかります。お母さん・お父さんにとっても、心と身体の健康が一番大切です。できるだけ休養をとりましょう。



出産後

1か月
2か月
3か月

- 出生届は新潟市外でも可能です。その場合、新潟市でこども医療費助成・児童手当などの手続きが別途必要です。
- 里帰り先など県外で新生児訪問・予防接種・乳児健康診査を受けたい場合は、区役所健康福祉課へご連絡ください。

その他の予定など、ご自由に記入してください。

月 _____
月 _____



新潟市の産後ケア事業

新潟市の産後ケア事業

(1)利用できる人

市内に住所を有する、出産後(退院後)の産婦及び生後1か月までの新生児で次に該当する方
出産後の身体的機能回復に不安を持ち、保健指導を必要とする方
初産婦等で、育児不安が強く、保健指導を必要とする方
その他、産後の経過に応じた休養や栄養管理等の日常の生活面について、保健指導を必要とする方

(2)期間

原則7日間(退院後からの利用となります。)

(3)利用料金

利用者は1日あたりの費用から市の負担額10,000円を差し引いた金額を自己負担(10,000~23,000円)

(4)内容

出産後の身体・乳房管理及び生活面の指導
沐浴、授乳等の育児指導
その他必要とする保健指導

(5)利用施設(平成28年4月~平成29年3月)

・委託施設: 産婦人科クリニック(11)・助産院(1)

備考1: 上記料金は母親と新生児1人についての金額となります。

備考2: 空室の状況により、希望どおりの利用ができない場合もありますので医療機関等とご相談ください。

利用状況(H26) : 実 45組 延べ207日 平均利用日数 4.6日

小児科併設型ネウボラ開設まで

2009年 「はっぴいmamaはうす」開設

保健師・助産師・看護師・保育士・ファイナンシャルプランナー
・心理学講座講師・アロマセラピスト・ヨガインストラクターなど。

私もママ達のため
に何かをやりたい。。



妊娠期からの切れ目ない支援＝ネウボラ的活動

➤ 2009年 任意団体「はっぴいmama応援団」結成

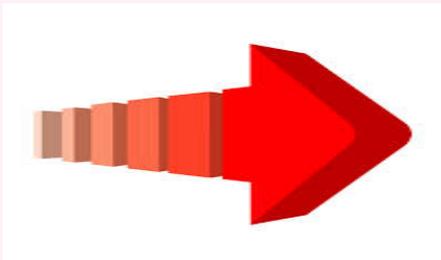
➤ 2015年 NPO法人化



新潟県少子化対策モデル事業追加募集！！



「専門職チームによる妊娠期からの切れ目ない支援プロジェクト」
新潟県少子化対策モデル事業として選定！
H27年9月～H30年3月(3年度事業)



親とよいこの
サポートステーション



ネウボラ
開設！

親とよいこのサポートステーションはっぴいmamaはうす

【多目的ホール】

子育てサロン
育児相談会
各種講座



ワンコインランチ



【送迎車】



【個室】

産後デイケア
個別指導
カウンセリング



【浴室】



【洗面所】



入浴・沐浴

専門職(医師・保健師・助産師)が関わる 妊娠期からの切れ目ない支援

- ・妊娠期からの育児相談会
- ・妊婦ケア教室・骨盤ケア教室
- ・妊婦さんのおしゃべり会
- ・産科医・小児科医のおはなし会
- ・べびいケア教室・抱っこ講座
- ・メンタルケア教室
- ・産後デイケア
- ・訪問ケア
- ・理学療法士によるボディケア
(産後の母親の健診)

など。



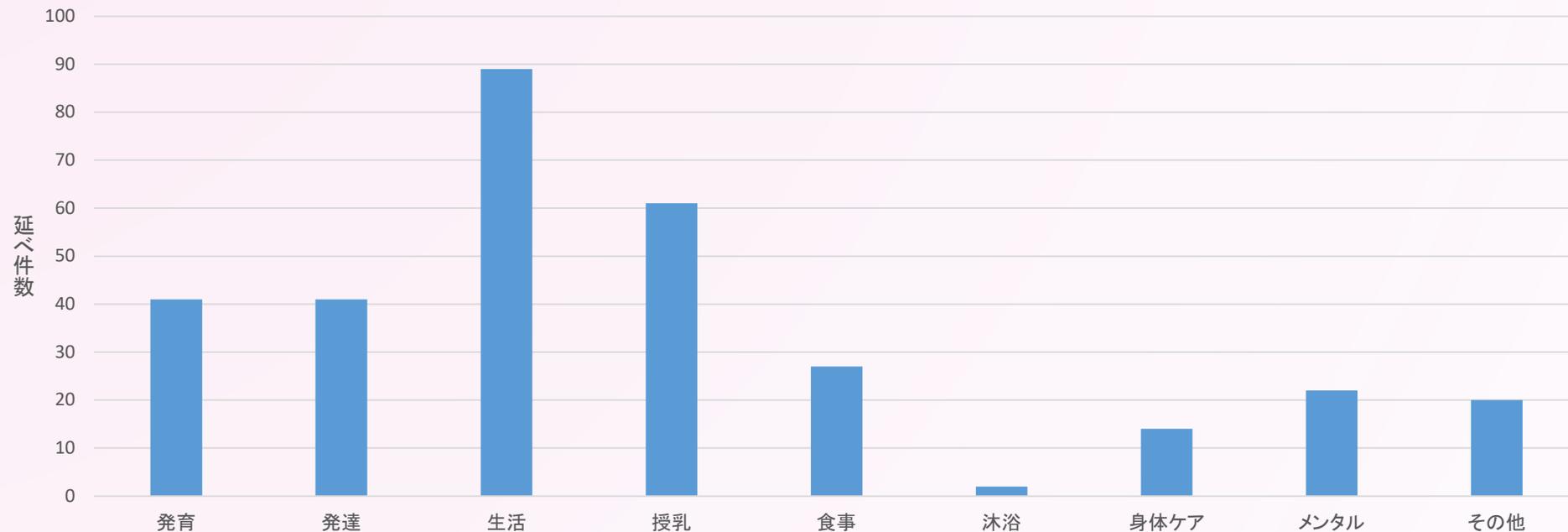
- ・アロマ講座
- ・ヨガ講座
- ・個性心理学を楽しむ会
- ・骨盤ケア教室
- ・カメラ講座

利用状況(5~9月)

子育てサロン : 73回 開催 延べ 522 組参加 (うち妊婦 : 13名)

育児相談会 : 45 回(産後デイケア1回含む) 延べ:165件

育児相談内容(重複あり)



◆今後の課題

- ・訪問看護ステーションの立ち上げ
- ・妊婦への広報活動
産婦人科との連携・啓蒙活動
- ・行政との連携：ケースの共有
- ・運営資金・雇用の安定
行政の公的事業としての予算化
民間企業からの支援の安定化・・・認定NPO法人



ご清聴 ありがとうございました。

NPO法人 はっぴいmama応援団 代表理事
親とよいこのサポートステーションはっぴいmamaはうす 代表
松山 由美子